

掲載しきれないイベントの写真などは、糸満市の「フェイスブック」「インスタグラム」「ライン」に掲載しています。



と | れ | た | て | い | と | れ | ぼ |

\\ 高嶺中学校の濱元さん //
永井隆平和賞受賞報告

島 根県雲南市などが主催する「第32回永井隆平和賞」で高嶺中学校3年の濱元優愛さんが中学生の部で優秀賞(全国2位相当)を受賞し、その報告をするため市役所を訪れました。この賞は、原子爆弾により白血病に侵されながらも世界に平和を訴え続けた永井隆博士の精神を受け継ぎ「愛」と「平和」をテーマとした作文を全国から募集するもので、今年度は全国から1,035作品の募集がありました。濱元さんは「自分が優秀賞に選ばれると思わなかったので、びっくりしましたがとても嬉しいです。いろいろな人に協力してもらってできた作文なので感謝しています」と受賞の喜びを話しました。



\\ 社会福祉協議会法人化50周年記念 //
第20回糸満市社会福祉大会

糸 満市福祉センターで10月29日、糸満市社会福祉協議会法人化50周年記念第20回糸満市社会福祉大会が開催されました。徳元孝進大会長は「法人化50周年を契機に多くの先輩から受け継いだ人間の尊厳と崇高なる精神を基本理念に使命感を再認識し、職員一丸となって日々の福祉サービスに努め、使命を果たしてまいります」とあいさつしました。当銘市長は「市としても新たな地域福祉計画づくりに取り組み、地域共生社会の実現へさらなる努力をつくしますので、今後とも積極的なご協力をお願いします」とあいさつしました。また大会では、法人化50周年などを記念し、90人の個人や団体に表彰状・感謝状が贈られました。



\\ 人材育成事業に活用 //

南山カントリーから20万円の寄付

南 山カントリーの常務らが10月26日に市役所を訪れ、人材育成事業へ20万円の寄付をしました。謝花剛常務は「子どもたちが礼儀やマナーなどを学ぶ場として開催してきた沖縄ジュニアゴルフ大会が3年連続で中止となってしまい、大変残念ですが子どもたちの明るい未来へ貢献できればと思い寄付にいたしました。有効に活用ください」と話しました。



\\ 人材育成事業に活用 //

西崎中卒業生から5万円の寄付

西 崎中学校第7期生(平成5年卒業)の同期会幹事の上原勝さんと仲宗根義恭さんが市役所を訪れ、人材育成事業へ5万円の寄付をしました。寄付者を代表して当時の生徒会長だった仲宗根さんは「卒業30周年を記念して同期会を開催し、会の残金を糸満市人材育成事業へ寄付することになりました。あまり多くありませんが気持ちをこめて寄付したいと思います」と話しました。



\\ 21人が入賞 //

税に関する標語などで表彰

糸 満市租税教育推進協議会表彰式が11月17日、市役所で開かれ、小・中学生の「税に関する標語」13人、中・高生の「税についての作文」8

人が表彰されました。この取り組みは、将来を担う児童・生徒に税の役割や納税の重要性について、理解と認識を深めてもらうことを目的に実施されています。代表幹事の幸地政行教育長は「児童・生徒の皆さん、受賞おめでとうございます。税に関する標語は市内の小中学校5校から357編、税についての作文は中学校・高校5校から375編の応募があり、非常に有意義な取り組みとなりました」とあいさつしました。



\\ 目指せ全国の舞台で表彰台! //

オールキッズトライアスロン大会報告

東 京で開催された「2022オールキッズトライアスロン大会」に出場したチームサンファクトリー沖縄トライアスロンスクールが大会結果報告のため、市役所を訪れました。5年生の知名純希君は「コロナで全国大会がなく、3年ぶりの全国大会出場となりました。今年、足を怪我し半年間ランニング練習ができない期間、水泳と自転車を強化して全国大会に挑みました。自己ベスト更新はならなかったけど、課題や来年の小学校最後の大会で表彰台に上がるという目標ができました。頑張るので応援お願いします」と話しました。

